

**日経**  
NIKKEI  
CONSTRUCTION

# コンストラクション

特集

## 資格で開く新天地

転職の決めゼリふは「頑張ります」より「頑張れます」

- 特別レポート / 東京大改造  
空から見た「ホスト五輪」プロジェクト
- 成績80点の取り方  
海象を先読みして手戻りゼロ

## 海外で通用しない「技術士」、制度の見直し検討

文部科学省は国家資格の「技術士」を国際的に通用する資格にしようと、制度の見直しを検討する。実現すれば、技術士の活躍の場が海外に広がる。どのような見直しが必要かを審議するため、作業部会の初会合を1月12日に開いた。

技術士は建設、機械、上下水道など20の技術部門と総合技術監理部門から成り、建設部門は建設技術者の代表的な資格として国内では定評がある。他方で海外での認知度は低く、外国の技術者資格との相互認証も進んでいない。唯一、オーストラリアの技術者資格と相互認証

する協定を締結しているものの、建設部門は対象外だ。

文科省の科学技術・学術審議会技術士分科会は2016年12月にまとめた提言「今後の技術士制度の在り方について」で、国際的に活躍する技術者の増加に対応して、技術士の国際的通用性の確保が重要だと指摘。同省はこれを受けて、同分科会制度検討特別委員会の下に「国際的通用性検討作業部会」（主査：岸本喜久雄・東京工業大学環境・社会理工学院長）を設置した。

同作業部会は7月ごろまでに全5回の

会合を予定。技術士資格を国際的に通用させるためにはどのような制度が必要か、各国の技術者制度と比較しながら課題を明確にする。文科省が技術士の国際化のために制度見直しに取り組む作業部会を設置したのは今回が初めてだ。

ただし、作業部会の検討を終えても、直ちに文科省が制度改正に踏み切るわけではない。同省は、国際化に必要な制度の見直しが実際にできるかどうかの検討も必要とみている。国内で活動する技術士保有者や受験者に混乱が及ばないように、慎重に進める考えだ。

理、更新の時代へ移る。官民連携や再生エネルギー、海外展開など、事業領域の拡大も迫られている。これらに対応できる技術や知識を持った人材を外部から採用することで、効率的な事業展開を可能にする。

### 資格があれば「頑張れます」

「年収を上げたい」「やりがいのある環境で働きたい」——。ヒューマンタッチが同社の転職支援サービスに登録した建設技術者を対象に、転職を考える理由を尋ねた結果だ(図2)。売り手市場を背景に、前向きな理由が並ぶ。

一方の求人側は、最低限の年収や「転勤なし」とうたうことで、少しでも多くの技術者に振り向いてもらおうと努力している(図3)。

ただし、「2020年以降の建設市況を考えると、応募者なら誰でももろ手を挙げて採用しようという企業は

図3 ■ 魅力的な言葉が並ぶ求人情報

オズベックのサイトに載る求人情報の例。最低限の年収や「転勤なし」をうたう企業は多い(資料:オズベック)

- 宇都市本社の建設コンサル 構造物等の調査・点検業務 正社員 転勤なし 年収500万円以上
- 四国各県で専属 発注者支援業務 年齢不問 正社員 転勤なし 車通勤 年収500万円以上
- 【九州・福岡県】大手建設コンサル会社にて各種土木設計技術 資格なし可
- 道路業界最大手の土木施工管理業務(道路、造成メイン) 当座相談 正社員案件 年収600万円以上
- 業界未経験者OK 建築・土木構造物の調査診断業務 正社員
- 九州県内において土木施工管理業務 スーパーゼネコン勤務 年収540万円以上
- 東北エリア 建設コンサル会社 宮城県多賀城市 年収540万円以上 通勤業務
- 東北エリア 建設コンサル会社 岩手県宮古市 年収540万円以上 宿舍完備

ない」と、建設技術者の人材紹介や転職を支援するオズベック(東京都港区)の瀧嶋誠司社長は話す。即戦力を望む求人ニーズに照らせば、資格を持たない技術者の転職は楽観で

きない。転職時の面接で、資格がなければ「頑張ります」としか言えない。資格があれば「頑張れます」と言える。この差は大きい。